

(仮称)北上野二丁目福祉施設の検討状況について

1 これまでの検討経過

- 平成 30 年度 松が谷福祉会館敷地にて改築の検討
- ・ 松が谷福祉会館の既存機能の充実
 - ・ 0 歳～ 39 歳までの相談、若者の居場所等
- 令和元年度～ ・ 子供や若者の相談、発達障害児支援の強化
 令和 2 年度 ・ 障害サービス機能のさらなる充実
- ・ 様々な利用者に合わせたより使いやすい施設内容

子供や若者、障害者支援のより一層の充実及び、施設の安全性や利便性の向上のため、松が谷福祉会館敷地での改築としていたものを、面積や立地、活用予定を踏まえ、旧上野忍岡高校跡地への移転新築に変更し、(仮称)北上野二丁目福祉施設(以下、「新施設」という)として整備することとした。

2 施設の検討状況について【別紙】

3 現状と課題【別紙：P 2～4】

	現状	課題
若 者 支 援 ・ 子 供 支 援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て、就学、療育、ひきこもりなど悩みや課題のある方が増加傾向 ・ 発達障害の認知度の高まりに伴う療育ニーズの増加・多様化 ・ 様々な理由により学校を長期欠席傾向にある児童・生徒がいること ・ 子育て、教育、福祉それぞれの分野で支援を充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分野ごとに窓口を設置しているため、相談者が適切な窓口を探す状況にあること ・ 発達障害の理解や当事者へ適切かつ継続的な支援が必要 ・ 長期欠席傾向にある児童・生徒へのニーズに合わせた様々な支援の充実 ・ ライフステージの変わり目での切れ目のない支援継続
お 松 が 谷 障 害 社 会 支 援 に	<p>《取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日中活動の中核的な施設としての役割 ・ 区内唯一の医療的ケア対応生活介護施設 ・ 変化する福祉ニーズに合わせ取組みを充実 <p>《設備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス提供スペースが手狭 ・ バリアフリー設備が不足 	<p>《取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療的ケア対応の生活介護施設が不足 ・ 将来を見越したサービス提供体制の確保 ・ 障害者の理解促進に資する取組み <p>《設備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の老朽化対応 ・ サービス提供スペースや利用者の動線が混在 ・ 安全で使いやすい施設が必要

4 これまでの検討により想定する新施設の主な機能〔別紙：P5～7〕

(1) 子供・若者支援

- ・ 様々な相談内容に対応できる相談しやすい窓口（子育て・教育・若者相談）
- ・ 成長に応じた切れ目のない支援
- ・ ひきこもりや、社会的困難を抱えた若者やその家族への支援
- ・ 施設利用者が安心して過ごせる居場所・交流の場
- ・ 児童発達支援による通所療育と地域支援の中核的役割

(2) 障害者の日中活動支援

- ・ 松が谷福祉会館の役割を継承
- ・ 医療的ケアを充実させた生活介護サービス
- ・ 障害者の社会参加を促進する取組みの充実
- ・ 共生社会実現のための、障害への理解促進の場

(3) 交流の場

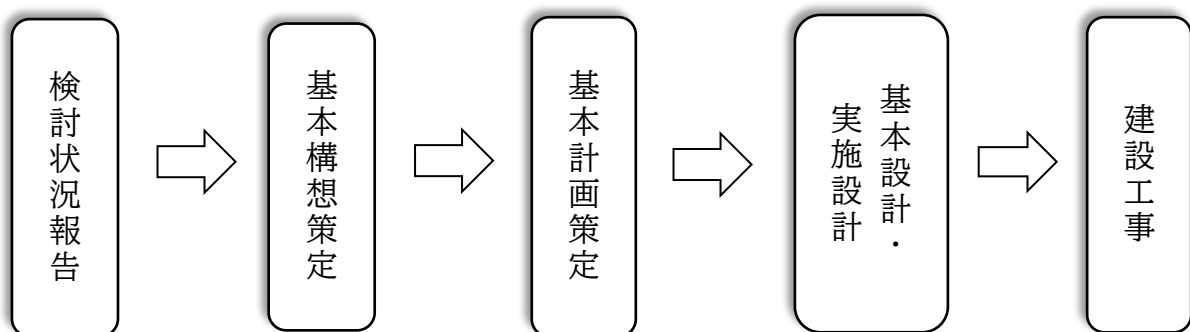
様々な年代や立場の人が共に利用することによる、地域活性化に資する場

(4) 二次（福祉）避難所、防災機能

災害時要配慮者に合わせた資材の備蓄や水害対応

5 今後の検討の進め方

次の手順により、引き続き庁内での検討を重ねるとともに、障害者団体や松が谷福祉会館の利用者、地域の方々などとの調整を図りながら、基本構想の策定など、施設整備に向けた取組みを進める。



6 令和3年度予算額(案)

2,783千円 土壌調査費用を計上

7 今後のスケジュール（予定）

令和3年度～ 基本構想策定